




PACIFIC CARGUY RACING

2021 SUPER GT SERIES ROUND 1 OKAYAMA Race Report

カテゴリー : GT300クラス
エントラント名 : PACIFIC CARGUY Racing
マシン名 : PACIFIC NAC CARGUY 488GT3
カーナンバー : 9
ドライバー : 木村武史、ケイ・コッツォリーノ

Best Lap : 1' 26.66
総合結果 : 23位

開催日 : 2021年4月10日～11日
会場 : 岡山国際サーキット(一周3.703km)
天候 : 10日 ☀(Dry) 11日 ☀(Dry)
気温 : 10日 11℃→14℃ 11日 14℃→18℃
路面温度 : 10日 21℃→29℃ 11日 29℃→37℃
参戦車両数 : GT500/15台 GT300/28台 合計43台



PACIFIC NAC CARGUY Ferrari 勝負をかけるもSCに泣き23位でフィニッシュ

事前情報

遂に2021年シーズンが開幕。新型コロナウイルス感染拡大の対策を講じながらの開催となった。制限は有るものの有観客でのRd.1岡山大会を迎え、『PACIFIC CARGUY Racing』として初めてのレースとなり、メディアにも大きな注目を集めた。3月の公式テスト岡山でもトラブルもなく順調にシーズンオフテストもこなしており、期待の高まる開幕戦となった。

公式予選: Q1



2021.4.10 AM10:00-PM12:30

ドライバー: ケイ・コッツォリーノ

気温 : 14℃

路面温度 : 29℃

順位 : Aグループ9位総合17位

Best Lap : 1'26.663

Lap数 : 7Lap

走行距離 : 25.921km

■ケイが好タイムを見せるが0.159秒差でQ2進めず

10日(土)Q1ドライバーはケイ・コッツォリーノでスタート。

開幕戦岡山にしては気温が例年より高い状態での予選を迎えた。コースオープンから直ぐにコースインしじっくりと丁寧にタイヤに熱を入れて行く。

マシンバランスを確認しながら5Lap目渾身のアタックを見せ、1'26.663のタイムを出し6番手に着けるも、後続車両にタイムを抜かされ 9番手でチェッカー。Q1敗退となった。TOP車両とのタイム差が0.797秒と僅差、GT300クラスの混戦具合が伺えた。

決勝



2021.4.11

PM13:30-PM15:42

第1スティント:ケイ・コッツォリーノ

第2スティント:木村武史

気温 : 18°C

路面温度 : 37°C

Best Lap : 1'28.721

Lap数 : 75Lap

走行距離 : 277.725km

11日(日)13時30分決勝スタート。最高のレース日和の中 17番手から追い上げを狙う。ケイがスタートドライバーを務め、PACIFIC NAC CARGUY Ferrariはスタート直後から猛追を見せ 1周目から1つ順位を上げ16番手となる。その後もケイの勢いは止まらず怒涛の追い上げを見せるも、33周目展開が大きく動いた。ケイが9番手まで追い上げるも300クラスの車両がコースオフ、セーフティーカーがコースインする前に多くのチームがピットイン、PACIFIC CARGUY Racingは賭けに出た。好タイムで走行しているケイに STAYを伝え続走させた。セーフティーカーのコースインより前に出る事が出来ればピットインした車両よりも1周前に出られるからだ。だが、ギリギリセーフティーカーより後ろとなってしまう、大きく順位を落とす事となった。53周目木村にバトンを繋ぐもピット作業ミスがあり更なるポジションダウンとなった。木村も渾身の走りを見せたが23位でのフィニッシュとなった。

ランキング20位で2021年をスタートした。次戦は、5月3日(祝・月)・4日(祝・火)に富士スピードウェイで第2戦として開催される。



COMMENT



神野元樹総監督

「先ずは初戦無事に完走する事が出来ました。結果は少し残念でしたが、チームメンバー全員頑張ったと思います。まだまだチームとしては成長中なので、今回の内容をチームでしっかり分析し、次戦へ繋げて行きたいと思います。」



木村武史選手

「ケイからのバトンを受けた際、バッテリーの不具合とタイヤのトラブルもありペースが上げられなかった事が残念でした。しかしフェラーリはタイヤに優しいという事が今回で分かったのでレースには強いと思います。次戦頑張ります。」



ケイ・コッツォリーノ選手

「レース序盤凄く良かったです。予選では前を走る車両に塞がれた状態で自分のペースが作れず残念ながらQ1敗退となってしまいました。しかし僕のスティント後半ではクリアで走れた状態では28秒台で走れたので、次回のレースでは確実に前に出てスタート出来ればトップ争いが出来ると思います。次回はミスの無い様トップ争いをして行きたいと思います。」

PARTNERS






SPONSORS



















